

常任委員会報告

総務民生常任委員会

(2月21日開催)

1. 調査事項

(1) 町有地等の保有状況

現在、町が保有する売却可能な土地は21件、建物物件は2件。町広報誌で売却可能な物件を紹介してきたが、景気低迷等の要因により購入希望の問合せは少ない。町内居住促進策として極端な安値での販売方法も考えられるが、町有財産の安価処分は良いのか疑問が残る。

(2) 地域防災計画の現状と検証

定期的に防災訓練を行っており、今年度は8月下旬に防災センター前で実施する予定。3年間で防災士が12名育成され、昨年は地域防災会議も発足した。地域防災計画については、国や北海道の防災計画が見直される予定で、本町も北海道と協議を行い24年度中に防災計画を見直す予定。

2. 報告事項

(1) 地域公共交通

3年間の実証運行を踏まえて24年度に結論を出し、25年度から新体制に移行。

(2) 戸籍システムの共同利用

中空知5市5町による戸籍システムの共同利用を行い、役場戸籍窓口の時間短縮・経費の節減・正確性を図る。

(3) 中央市街地街路灯更新

国道275号沿線の街路灯107基の老朽化に伴い、一部新設箇所も含め更新する。LED電球の設置により長寿命化や経費の節減を図る。

平成24年度(橋本・みどり区) 32基
平成25年度(中央・文京・菊水・青葉区) 99基

(4) 運転免許証自主返納に伴う住基カードの交付

高齢者の運転による交通事故防止策も含め、運転免許証を自主返納した全ての町民を対象に身分証明書としても使用できる住基カードを無料で交付する。

経済文教常任委員会

(2月22日開催)

1. 調査事項

(1) 生きる力を育む学校づくり推進事業

本町小中学校独自の教育活動への支援策として平成23年度から行っている事業。

項目	事業内容・取り組み	
	小学校	中学校
育る力を育む学校づくり	コンサート等の芸術鑑賞事業	道徳・性教育に係る講演会開催
学力の向上	夏・冬期休業中学学習サポート事業、家庭学習の手引き配付	夏・冬期休業中学学習サポート事業、漢字・英語検定
特色ある学校づくり	地元食材を使った家庭科授業	地元食材を使った調理実習
その他学校経営	親父の会への支援	

(2) 安心すまいる助成事業

地震に対する住宅の安全性への向上と地球温暖化対策のため、「耐震診断」「耐震改修工事」「省エネ改修工事」に対し助成する事業。

【助成対象】

- ① 一戸建の住宅、長屋、併用住宅(店舗含む)、共同住宅
- ② 耐震改修工事は、昭和56年5月31日以前に着工された建物であること。
- ③ 補助率及び限度額

事業内容	補助率	補助金額
耐震診断	2/3	4万円
耐震改修工事	1/5	75万円
省エネ改修工事	1/5	30万円

2. 報告事項

(1) 中学校武道場工事

- ▽建設予定地 図書館南側
- ▽構造・面積 鉄骨造平屋建 760・75㎡
- ▽使用材の特徴 内部の天井・壁材に十津川村の檜、新十津川産のトドマツを使用
- ▽工事費 約2億4千万円

編集後記

昨年の編集後記で東日本大震災を記述した。あれから1年が経ち被害の実態も明らかになり、阪神・淡路大震災時の死者6千431名、行方不明者3名と比較して、この震災での死者数は約二・五倍の1万5千854名。行方不明者数は3千155名。実に阪神・淡路大震災の千倍以上にも達してしまった。

今年母を亡くした私にとって、肉親や知人を亡くし大きな悲しみの中で遺体も無く通常の葬儀も行えない被災者の無念さや憤りを思う時、地震や津波被害の大きさを改めて痛感している。震災から1年が経過し瓦礫の処理やまちの再構築などは遅々として進まざり1日も早い住環境の整備が急がれている。今後は遺族や避難住民に対する精神面でのケアも、重要な災害対策の一つであろうと思う。(笹木)

【議会広報特別委員会】

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 青田 良一 |
| 副委員長 | 山田 秀明 |
| 委員 | 笹木 正文 |
| | 安中 経人 |
| | 西内 陽美 |